

学校向け実態調査【調査票】

小学校用

小学校におけるヤングケアラーへの対応に関するアンケート調査

※実際にはWEB上で実施

小学校用

1. 基本情報

問1. ご回答された方の役職を教えてください。

1. 校長
2. 副校長・教頭
3. 指導教諭
4. 教諭
5. 養護教諭
6. スクールソーシャルワーカー (SSW)
7. スクールカウンセラー (SC)
8. その他 ( )

問2. 貴校の所在地を選択してください。

(21「市町」から選択)

問3. 小学6年生の在籍者数を入力してください。※令和5年5月1日現在

(数値を入力)

2. ヤングケアラーについて

問4. 貴校では「ヤングケアラー」という概念を認識していますか。

1. 言葉を知らない → 問7へ
2. 言葉は聞いたことがあるが、具体的には知らない → 問7へ
3. 言葉は知っているが、学校としては特別な対応をしていない → 問7へ
4. 言葉を知っており、学校として意識して対応している → 問5へ

問5. 貴校では「ヤングケアラー」と思われる子どもの実態を把握していますか。

1. 把握している → 問6へ
2. 「ヤングケアラー」と思われる子どもはいるが、その実態は把握していない → 問7へ
3. 該当する子どもはいない(これまでもいなかった) → 問7へ

問6. 貴校では「ヤングケアラー」と思われる子どもをどのように把握していますか。

1. アセスメントシートやチャットリストなどのツールを用いている
2. 特定のツールはないが、できるだけ「ヤングケアラー」の視点を持って検討・対応している
3. その他 ( )

問7. 現在、貴校にヤングケアラーと思われる(可能性含む)子どもはいますか。

※ヤングケアラーの定義及び状態像について  
ヤングケアラーたちは、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話を日常的に行っていることにより、学べない、やりたいことができにくいなど、「子どもの権利」が守られない可能性があり、適切な支援が必要です。

1. いる → 問8へ
2. いない → 問13へ
3. わからない → 問12へ

問8. ヤングケアラーと思われる子どもの状況は次のうちどれですか。

※あてはまる番号すべてを選択

1. 障がいや病気のある家族に代わり、家事(買い物・料理・洗濯・掃除など)をしている
2. 家族の代わりに、幼いきょうだいの世話をしている
3. 家族の代わりに、障がいや病気のあるきょうだいの世話をしている
4. 目の離せない家族の見守りや声掛けをしている
5. 家族の通訳をしている(日本語や手話など)
6. アルコール・薬物・ギャンブルなどの問題のある家族に対応している
7. 病気の家族の看病をしている
8. 障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている
9. 障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている
10. その他 ( )

問9. ヤングケアラーと思われる子どもについて、学校以外の外部の支援につないだケースはありますか。

※あてはまる番号すべてを選択

1. 要保護児童対策地域協議会に通告したケースがある → 問9-1へ
2. 要保護児童対策地域協議会に通告するほどではないが、学校以外の外部の支援につないだケースがある → 問9-2へ
3. 外部の支援にはつないでいない(学校内で対応している) → 問9-3へ

問9-1. 要保護児童対策地域協議会に通告したケースについて、該当する直近のケースを教えてください。

(1) 性別を選択してください。

1. 女性
2. 男性
3. その他

(2) 学年を選択してください。

1. 小学1年生
2. 小学2年生
3. 小学3年生
4. 小学4年生
5. 小学5年生
6. 小学6年生

小学校用

(3) 学校生活の状況を選択してください。

※あてはまる番号すべてを選択

1. 学校を休みがちである
2. 遅刻や早退が多い
3. 保健室で過ごしていることが多い
4. 精神的な不安定さがある
5. 身だしなみが整っていない
6. 学力が低下している
7. 宿題や持ち物の忘れ物が多い
8. 保護者の承諾が必要な書類等の提出遅れや提出忘れが多い
9. 学校に必要なものを用意してもらえない
10. 修学旅行や宿泊行事を欠席する
11. 校納金の納付が遅れる、未払い
12. その他( )

(4) 家族構成を選択してください。

※あてはまる番号すべてを選択

1. 母親
2. 父親
3. 祖母
4. 祖父
5. きょうだい
6. その他( )

(5) 家庭でのケアの状況を把握していますか。

1. はい → (5)-1~3を回答してください。

2. いいえ → (6)へ

(5)-1 ケアを必要としている人はどなたですか。

※あてはまる番号すべてを選択

1. 母親
2. 父親
3. 祖母
4. 祖父
5. きょうだい
6. その他( )

小学校用

(5)-2 ケアを必要としている人の状況を選択してください。

※あてはまる番号すべてを選択

1. 高齢(65歳以上)
2. 幼い
3. 要介護(介護が必要な状態)
4. 認知症
5. 身体障がい
6. 知的障がい
7. 精神疾患(疑い含む)
8. 依存症(疑い含む)
9. 7,8以外の病气
10. 日本語を第一言語としない
11. その他( )
12. わからない

(5)-3 ケアの内容を選択してください。

※あてはまる番号すべてを選択

1. 家事(食事の準備や掃除、洗濯)
2. きょうだいの世話や保育所等への送迎など
3. 身体的な介護(入浴やトイレのお世話など)
4. 外出の付き添い(買い物、散歩など)
5. 病院の付き添い
6. 感情面のサポート(愚痴を聞く、話し相手になるなど)
7. 見守り
8. 通訳(日本語や手話など)
9. 金銭管理
10. 薬の管理
11. その他( )
12. わからない

(6) ヤングケアラーと気付いた理由、きっかけを教えてください。

※自由記述

[ ]

(7) 要保護児童対策地域協議会への通告ルートを選択してください。

1. 市町教育委員会経由

2. 学校から直接連絡

3. その他( )

(8) 学校が行った支援等(要対協との連携も含めて)を教えてください。

※自由記述

[ ]

(9) 支援した結果、子どもへの変化について教えてください。

※自由記述

[ ]

問9-2. 学校以外の外部の支援につないだケースについて、該当する直近のケースを教えてください。

(1) 性別を選択してください。

- 1. 女性
- 2. 男性
- 3. その他

[ ]

(2) 学年を選択してください。

- 1. 小学1年生
- 2. 小学2年生
- 3. 小学3年生
- 4. 小学4年生
- 5. 小学5年生
- 6. 小学6年生

[ ]

(3) 学校生活の状況を選択してください。

※あてはまる番号すべてを選択

- 1. 学校を休みがちである
- 2. 遅刻や早退が多い
- 3. 保健室で過ごしていることが多い
- 4. 精神的な不安定さがある
- 5. 身だしなみが整っていない
- 6. 学力が低下している
- 7. 宿題や持ち物の忘れ物が多い
- 8. 保護者の承諾が必要な書類等の提出遅れや提出忘れが多い
- 9. 学校に必要なものを用意してもらえない
- 10. 修学旅行や宿泊行事を欠席する
- 11. 校納金の納付が遅れる、未払い
- 12. その他

[ ]

(4) 家族構成を選択してください。

※あてはまる番号すべてを選択

- 1. 母親
- 2. 父親
- 3. 祖母
- 4. 祖父
- 5. きょうだい
- 6. その他

[ ]

(5) 家庭でのケアの状況を把握していますか。

1. はい → (5)-1~3を回答してください。

2. いいえ → (6)へ

[ ]

(5)-1 ケアを必要としている人はどなたですか。

※あてはまる番号すべてを選択

- 1. 母親
- 2. 父親
- 3. 祖母
- 4. 祖父
- 5. きょうだい
- 6. その他

[ ]

(5)-2 ケアを必要としている人の状況を選択してください。

※あてはまる番号すべてを選択

- 1. 高齢(65歳以上)
- 2. 幼い
- 3. 要介護(介護が必要な状態)
- 4. 認知症
- 5. 身体障がい
- 6. 知的障がい
- 7. 精神疾患(疑い含む)
- 8. 依存症(疑い含む)
- 9. 7,8以外の病気
- 10. 日本語を第一言語としない
- 11. その他
- 12. わからない

[ ]

(5) 3 ケアの内容を選択してください。

※あてはまる番号すべてを選択

1. 家事（食事の準備や掃除、洗濯）  
 2. きょうだいの世話や保育所等への送迎など  
 3. 身体的な介護（入浴やトイレのお世話など）  
 4. 外出の付き添い（買い物、散歩など）  
 5. 病院の付き添い  
 6. 感情面のサポート（愚痴を聞く、話し相手になるなど）  
 7. 見守り  
 8. 通訳（日本語や手話など）  
 9. 金銭管理  
 10. 薬の管理  
 11. その他（  
 12. わからない

(6) ヤングケアラーと気付いた理由・きっかけを教えてください。

※自由記述

[ ]

(7) つないだ機関について教えてください。

※自由記述

[ ]

(8) 外部機関へのつなぎ方を選択してください。

1. 市町教育委員会経由  
 2. 学校から直接連絡  
 3. その他（

(9) 学校が行った支援等（要対協との連携も含めて）を教えてください。

※自由記述

[ ]

(10) 支援した結果、子どもへの変化について教えてください。

※自由記述

[ ]

問9-3. 外部の支援につないでいない（学校内で対応している）ケースについて教えてください。

(1) 外部の支援につなげなかった理由を教えてください。

※自由記述

[ ]

(1) 外部の支援につなげなかったケースについて、どのように対応しているか教えてください。

※自由記述

[ ]

問10. ヤングケアラーの把握や支援に当たって工夫していることや気を付けていることを教えてください。

※自由記述

[ ]

問11. ヤングケアラーの把握に当たって難しいと感じることを教えてください。

※自由記述

[ ]

問12. ヤングケアラーと思われる子どもがいるかわからない理由を教えてください。

※あてはまる番号すべてを選択

1. 学校において、「ヤングケアラー」の概念や支援対象としての認識が不足している
2. 不登校やいじめなどに比べ緊急度が高くないため、「ヤングケアラー」に関する実態の把握が後回しになる
3. 家庭内のことで問題が表に出にくく、実態の把握が難しい
4. ヤングケアラーである子ども自身やその家族が「ヤングケアラー」という問題を認識していない
5. その他( )

問13. ヤングケアラーを支援するために、必要だと恐うことはどのようなことですか。

1. 子ども自身がヤングケアラーについて知ること
2. 教職員がヤングケアラーについて知ること
3. 学校にヤングケアラーが何人いるか把握すること
4. SSW や SC などの専門職の配置が充実すること
5. 子どもが教員に相談しやすい関係をつくること
6. ヤングケアラーについて検討する組織を校内につくること
7. 学校にヤングケアラー本人や保護者が相談できる窓口があること
8. 学校がヤングケアラーの支援について相談できる機関があること
9. ヤングケアラーを支援する NPO などの団体が増えること
10. 福祉と教育の連携を進めること(下欄に具体的に記入)
- ( )
11. その他( )

問14. ヤングケアラーに関してご自由に意見をお書きください。

※自由記述

中学校・中等教育学校 高等学校におけるヤングケアラーへの対応に関するアンケート調査

※実際には WEB 上で実施

1. 基本情報

問1. ご回答された方の役職を教えてください。

1. 校長  
2. 副校長・教頭  
3. 指導教諭  
4. 教諭  
5. 養護教諭  
6. スクールソーシャルワーカー (SSW)  
7. スクールカウンセラー (SC)  
8. その他 ( )

問2. 貴校の学校区分を教えてください。

1. 中学校 (義務教育学校 後期課程を含む)  
2. 中等教育学校  
3. 高等学校 (全日制)  
4. 高等学校 (定時制)  
5. 高等学校 (全日制・定時制 併設)  
6. 高等学校 (全日制・通信制 併設)  
7. 高等学校 (定時制・通信制 併設)  
8. 高等学校 (全日制・専攻科 併設)

問2-1. (問2で3~8と回答された方) 単位制の有無を選択してください。

1. あり  
2. 一部あり  
3. なし

問3. 貴校の所在地を選択してください。

(2) 市町から選択

問4. 生徒の在籍者数を入力してください。

※令和5年5月1日現在

※通信制については県内在住の生徒の在籍者数をお答えください。

(数値を入力)

2. ヤングケアラーについて

問5. 貴校では「ヤングケアラー」という概念を認識していますか。

1. 言葉を知らない → 問8へ  
2. 言葉は聞いたことがあるが、具体的には知らない → 問8へ  
3. 言葉は知っているが、学校としては特別な対応をしていない → 問8へ  
4. 言葉を知っており、学校として意識して対応している → 問6へ

問6. 貴校では「ヤングケアラー」と思われる子どもの実態を把握していますか。

1. 把握している → 問7へ  
2. 「ヤングケアラー」と思われる子どもはいるが、その実態は把握していない → 問8へ  
3. 該当する子どもはいない (これまでいなかった) → 問8へ

問7. 貴校では「ヤングケアラー」と思われる子どもをどのように把握していますか。

1. アセスメントシートやチェックリストなどのツールを用いている  
2. 特定のツールはないが、できるだけ「ヤングケアラー」の視点を持って検討・対応している  
3. その他 ( )

問8. 現在、貴校にヤングケアラーと思われる (可能性含む) 子どもはいますか。

※ヤングケアラーの定義及び状態像について

ヤングケアラーたちは、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話を日常的に行っていることにより、学べない、やりたいことができにくいなど、「子どもの権利」が守られない可能性があり、適切な支援が必要です。

1. いる → 問9へ  
2. いない → 問14へ  
3. わからない → 問13へ

問9. ヤングケアラーと思われる子どもの状況は次のうちどれですか。

※あてはまる番号すべてを選択

1. 障がいや病気のある家族に代わり、家事 (買い物・料理・洗濯・掃除など) をしている  
2. 家族の代わりに、幼いきょうだいの世話をしている  
3. 家族の代わりに、障がいや病気のあるきょうだいの世話をしている  
4. 目の離せない家族の見守りや声掛けをしている  
5. 家族の通訳をしている (日本語や手話など)  
6. アルコール・薬物・ギャンブルなどの問題のある家族に対応している  
7. 病気の家族の看病をしている  
8. 障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている  
9. 障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている  
10. その他 ( )

問10. ヤングケアラーと思われる子どもについて、学校以外の外部の支援に つないだケースはありますか。

※あてはまる番号すべてを選択

1. 要保護児童対策地域協議会に通告したケースがある → 問10-1へ  
2. 要保護児童対策地域協議会に通告するほどではないが、学校以外の外部の支援につないだケースがある → 問10-2へ  
3. 外部の支援にはつないでいない (学校内で対応している) → 問10-3へ

問10-1. 要保護児童対策地域協議会に通告したケースについて、該当する直近のケースを教えてください。

(1) 性別を選択してください。

1. 女性  
2. 男性  
3. その他

(2) 学年を選択してください。

1. 中学1年生
2. 中学2年生
3. 中学3年生
4. 高校1年生
5. 高校2年生
6. 高校3年生
7. 高校4年生
8. 中等教育1年生
9. 中等教育2年生
10. 中等教育3年生
11. 中等教育4年生
12. 中等教育5年生
13. 中等教育6年生

(3) 学校生活の状況を選択してください。

※あてはまる番号すべてを選択

1. 学校を休みがちである
2. 遅刻や早退が多い
3. 保健室で過ごしていることが多い
4. 精神的な不安定さがある
5. 身だしなみが整っていない
6. 学力が低下している
7. 宿題や持ち物の忘れ物が多い
8. 保護者の承諾が必要な書類等の提出遅れや提出忘れが多い
9. 学校に必要なものを用意してもらえない
10. 部活を途中で辞めてしまった
10. 修学旅行や宿泊行事を欠席する
11. 校納金の納付が遅れる、未払い
12. その他( )

(4) 家族構成を選択してください。

※あてはまる番号すべてを選択

1. 母親
2. 父親
3. 祖母
4. 祖父
5. きょうだい
6. その他( )

(5) 家庭でのケアの状況を把握していますか。

1. はい → (5)-1~3を回答してください。

2. いいえ → (6)へ

(5)-1 ケアを必要としている人はどなたですか。

※あてはまる番号すべてを選択

1. 母親
2. 父親
3. 祖母
4. 祖父
5. きょうだい
6. その他( )

(5)-2 ケアを必要としている人の状況を選択してください。

※あてはまる番号すべてを選択

1. 高齢(65歳以上)
2. 若い
3. 要介護(介護が必要な状態)
4. 認知症
5. 身体障がい
6. 知的障がい
7. 精神疾患(疑い含む)
8. 依存症(疑い含む)
9. 7, 8以外の病気
10. 日本語を第一言語としない
11. その他( )
12. わからない

(5)-3 ケアの内容を選択してください。

※あてはまる番号すべてを選択

1. 家事(食事の準備や掃除、洗濯)
2. きょうだいの世話や保育所等への送迎など
3. 身体的な介護(入浴やトイレのお世話など)
4. 外出の付き添い(買い物、散歩など)
5. 病院の付き添い
6. 感情面のサポート(愚痴を聞く、話し相手になるなど)
7. 見守り
8. 通訳(日本語や手話など)
9. 金銭管理
10. 薬の管理
11. その他( )
12. わからない

(6) ヤングケアラーと気付いた理由・きっかけを教えてください。  
※自由記述

[ ]

(7) 要保護児童対策地域協議会への通告ルートを選択してください。

1. 市町教育委員会経由  
2. 学校から直接連絡  
3. その他( )

(8) 学校が行った支援等(要対協との連携も含めて)を教えてください。  
※自由記述

[ ]

(9) 支援した結果、子どもへの変化について教えてください。  
※自由記述

[ ]

問10-2. 学校以外の外部の支援につないだケースについて、該当する直近のケースを教えてください。

(1) 性別を選択してください。

1. 女性  
2. 男性  
3. その他

[ ]

(2) 学年を選択してください。

1. 中学1年生  
2. 中学2年生  
3. 中学3年生  
4. 高校1年生  
5. 高校2年生  
6. 高校3年生  
7. 高校4年生  
8. 中等教育1年生  
9. 中等教育2年生  
10. 中等教育3年生  
11. 中等教育4年生  
12. 中等教育5年生  
13. 中等教育6年生

[ ]

(3) 学校生活の状況を選択してください。

※あてはまる番号すべてを選択

1. 学校を休みがちである

2. 遅刻や早退が多い  
3. 保健室で過ごしていることが多い  
4. 精神的な不安定さがある  
5. 身だしなみが整っていない  
6. 学力が低下している  
7. 宿題や持ち物の忘れ物が多い  
8. 保護者の承諾が必要な書類等の提出遅れや提出忘れが多い  
9. 学校に必要なものを用意してもらえない  
10. 部活を途中で辞めてしまった  
10. 修学旅行や宿泊行事を欠席する  
11. 校納金の納付が遅れる、未払い  
12. その他( )

[ ]

(4) 家族構成を選択してください。

※あてはまる番号すべてを選択

1. 母親

2. 父親  
3. 祖母  
4. 祖父  
5. きょうだい  
6. その他( )

[ ]

(5) 家庭でのケアの状況を把握していますか。

1. はい → (5) - 1 ~ 3 を回答してください。

2. いいえ → (6) ^

[ ]



(5)ー1 ケアを必要としている人はどなたですか。

※あてはまる番号すべてを選択

1. 母親 )  
 2. 父親 )  
 3. 祖母 )  
 4. 祖父 )  
 5. きょうだい )  
 6. その他( )

(5)ー2 ケアを必要としている人の状況を選択してください。

※あてはまる番号すべてを選択

1. 高齢 (65歳以上)  
 2. 若い  
 3. 要介護 (介護が必要な状態)  
 4. 認知症  
 5. 身体障がい  
 6. 知的障がい  
 7. 精神疾患 (疑い含む)  
 8. 依存症 (疑い含む)  
 9. 7,8以外の病気  
 10. 日本語を第一言語としない  
 11. その他( )  
 12. わからない

(5)ー3 ケアの内容を選択してください。

※あてはまる番号すべてを選択

1. 家事 (食事の準備や掃除、洗濯)  
 2. きょうだいの世話や保育所等への送迎など  
 3. 身体的な介護 (入浴やトイレのお世話など)  
 4. 外出の付き添い (買い物、散歩など)  
 5. 病院の付き添い  
 6. 感情面のサポート (愚痴を聞く、話し相手になるなど)  
 7. 見守り  
 8. 通訳 (日本語や手話など)  
 9. 金銭管理  
 10. 薬の管理  
 11. その他( )  
 12. わからない

(6) ヤングケアラーと気付いた理由・きっかけを教えてください。

※自由記述

[ ]

(7) つないだ機関について教えてください。

※自由記述

[ ]

(8) 外部機関へのつなぎ方を選択してください。

1. 市町教育委員会経由  
 2. 学校から直接連絡  
 3. その他( )

(9) 学校が行った支援等 (要対協との連携も含めて) を教えてください。

※自由記述

[ ]

(10) 支援した結果、子どもへの変化について教えてください。

※自由記述

[ ]

問10-3. 外部の支援につないでいない(学校内で対応している)ケースについて教えてください。

(1) 外部の支援につなげなかった理由を教えてください。

※自由記述

[ ]

(2) 外部の支援につながらなかったケースについて、どのように対応しているか教えてください。

※自由記述

[ ]

問11. ヤングケアラーの把握や支援に当たって工夫していることや気を付けていることを教えてください。

※自由記述

[ ]

問12. ヤングケアラーの把握に当たって難しいと感じることを教えてください。

※自由記述

[ ]

問13. ヤングケアラーと思われる子どもがいるかわからない理由を教えてください。

※あてはまる番号すべてを選択

- 1. 学校において、「ヤングケアラー」の概念や支援対象としての認識が不足している
- 2. 不登校やいじめなどに比べ緊急度が高くないため、「ヤングケアラー」に関する実態の把握が後回しになる
- 3. 家庭内のことで問題が表に出にくく、実態の把握が難しい
- 4. ヤングケアラーである子ども自身やその家族が「ヤングケアラー」という問題を認識していない
- 5. その他( )

問14. ヤングケアラーを支援するために、必要だと思われることはどのようなことですか。

- 1. 子ども自身がヤングケアラーについて知ること
- 2. 教職員がヤングケアラーについて知ること
- 3. 学校にヤングケアラーが何人いるか把握すること
- 4. SSW や SC などの専門職の配置が充実すること
- 5. 子どもが教員に相談しやすい関係をつくること
- 6. ヤングケアラーについて検討する組織を校内につくること
- 7. 学校にヤングケアラー本人や保護者が相談できる窓口があること
- 8. 学校がヤングケアラーの支援について相談できる機関があること
- 9. ヤングケアラーを支援する NPO などの団体が増えること
- 10. 福祉と教育の連携を進めること(下欄に具体的に記入)
- ( )
- 11. その他( )

問15. ヤングケアラーに関してご自由に意見をお書きください。

※自由記述

[ ]

# 学校向けヤングケアラー実態調査結果 (概要版)

令和5年10月



## 学校向けヤングケアラー実態調査の結果(概要版)

◆ 調査目的

ヤングケアラーに関する学校の状況やニーズ等を把握し、支援を必要としているヤングケアラーの早期発見や適切な支援につなげる方策を検討する。

◆ 実施時期 令和5年8月10日～9月19日

◆ 調査方法 WEB

◆ 調査対象 下表のとおり

	対象校数 (A)	回答数 (B)	【参考】 B/A ※
公立小学校	311	303	97.4%
公立中学校 (中等教育学校・義務教育学校後期課程含む)	168	158	94.0%
公立高等学校 (全日制・定時制)	65	52	80.0%
合計	544	513	94.3%

※同一校から複数回答の可能性があるので、参考として記載

## 学校向けヤングケアラー実態調査の結果（概要版）

### ①ヤングケアラーの認知度 ②ヤングケアラーと思われる子どもの有無

- ① ヤングケアラーという言葉を知っていると回答した割合は全学校種でほぼ100%である。  
 ② ヤングケアラーと思われる子どもが「いる」と回答した割合は小学校、中学校、高校の順に高くなっている。

#### ①ヤングケアラーの概念の認知度 (%)

	調査数(コ)	言葉を知らない	言葉は聞いたことがあるが、具体的には知らない	言葉は知っているが、学校としては特別な対応をしていない	言葉を知っており、学校として意識して対応している
小学校	303	0.0	1.0	18.8	80.2
中学校	158	0.0	3.8	15.8	80.4
高等学校	52	0.0	0.0	11.5	88.5

#### ②ヤングケアラーと思われる子どもの有無 (%)

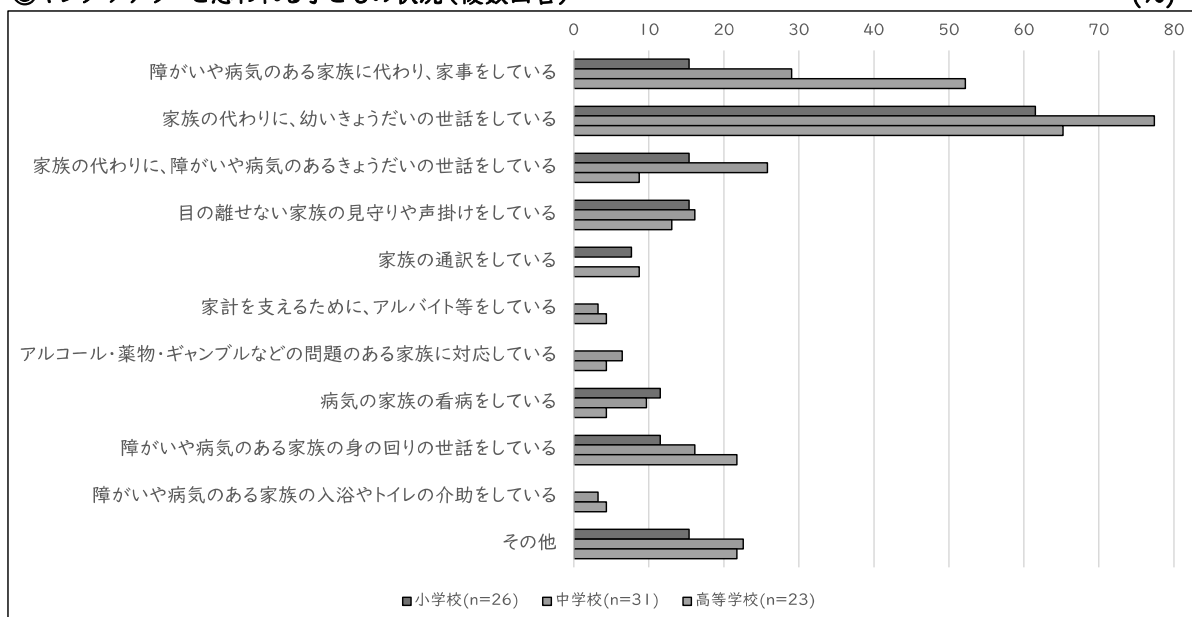
	調査数(コ)	いる	いない	わからない
小学校	303	8.6	83.5	7.9
中学校	158	19.6	63.9	16.5
高等学校	52	44.2	48.1	7.7

## 学校向けヤングケアラー実態調査の結果（概要版）

### ③ヤングケアラーと思われる子どもの状況

- ③ ヤングケアラーと思われる子どもが「いる」と回答した学校での子どもの状況としては、「家族の代わりに、幼いきょうだいの世話をしている」が最も高い。また、高校では「障がいや病気のある家族に代わり、家事をしている」が小学校・中学校と比較して高くなっている。

#### ③ヤングケアラーと思われる子どもの状況（複数回答）



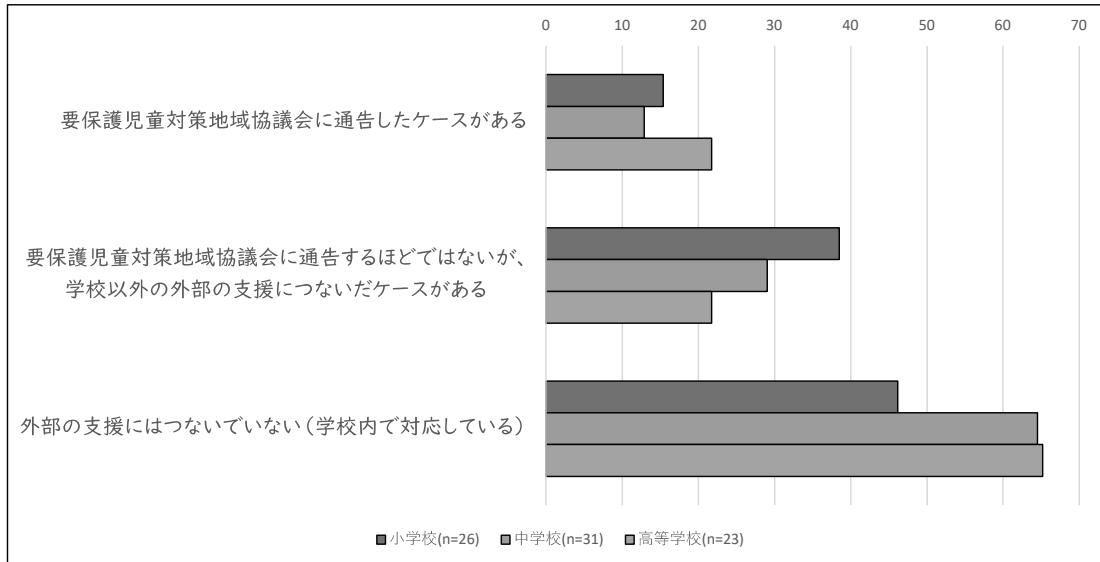
## 学校向けヤングケアラー実態調査の結果(概要版)

### ④外部の支援につないだケースの有無

- ④ ヤングケアラーと思われる子どもが「いる」と回答した学校で、要保護児童対策地域協議会への通告のほか、何らかの外部の支援につないだケースの有無については、「外部の支援にはつないでいない(学校内で対応している)」が最も多かった。

#### ④外部の支援につないだケースの有無(複数回答)

(%)



## 学校向けヤングケアラー実態調査の結果(概要版)

### ⑤ヤングケアラーの支援のために必要だと思うこと

- ⑤ ヤングケアラーの支援のために必要だと思うことについては、「子ども自身/教職員がヤングケアラーについて知ること」「子どもが教員に相談しやすい関係をつくること」が多かった。また、高校においては「SSWやSCなどの専門職の配置が充実すること」も多くなっている。

#### ⑤ヤングケアラーの支援のために必要だと思うこと(複数回答)

(%)

